

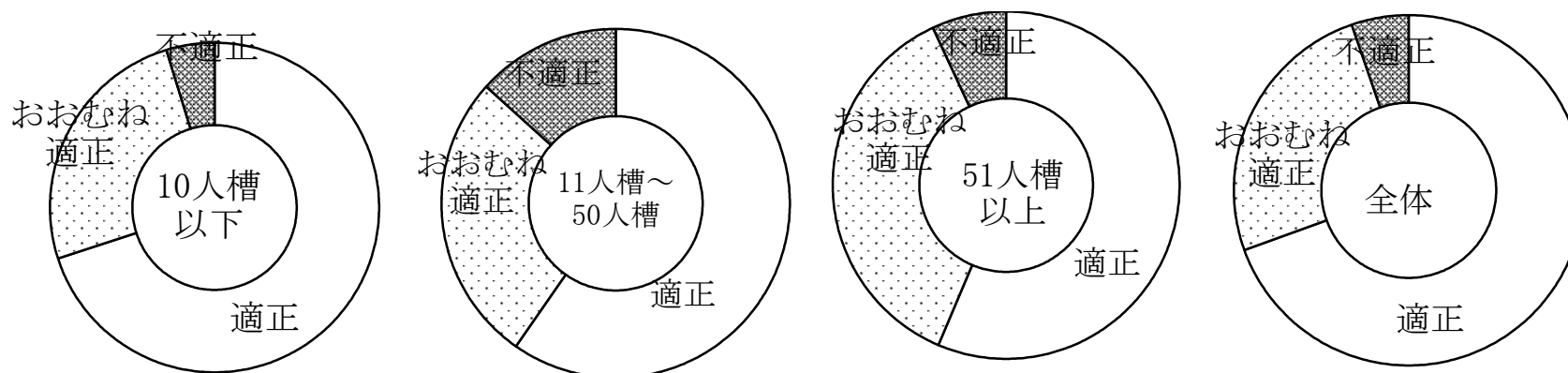
法定検査結果の概要(平成20年度)

① 7条検査結果

7条検査は、浄化槽の使用開始後一定期間を経過してから行う検査で、設置工事、保守点検などが適正に行われ機能が十分発揮されて所期の処理水質が確保されているか確認するものです。

検査結果の判定は「浄化槽法定検査検査結果ガイドライン」(環境省浄化槽推進室)によって行い、「適正」、「おおむね適正」及び「不適正」に区分されます。

人槽	検査実施 件数	適正	%	おおむね 適正	%	不適正	%
5～10	4594	3220	70.1%	1152	25.1%	222	4.8%
11～50	270	161	59.6%	73	27.0%	36	13.3%
51～	71	40	56.3%	26	36.6%	5	7.0%
計	4935	3421	69.3%	1251	25.4%	263	5.3%



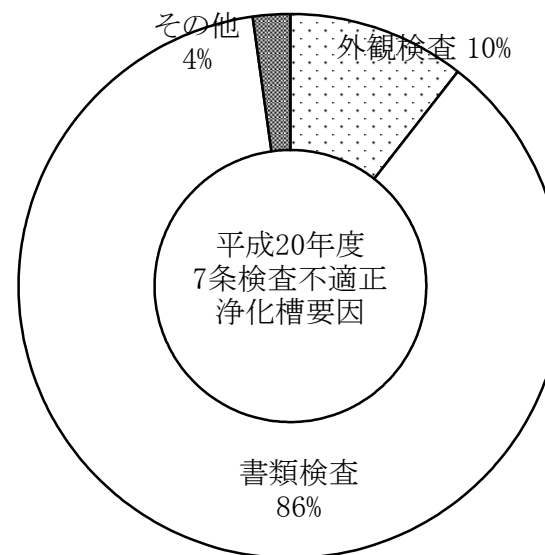
② 7条検査結果における不適正要因

7条検査は、浄化槽の設置及び維持管理の状況について外観検査、放流水等についての水質検査並びに保守点検及び清掃の実施状況等についての書類検査が行われます。

7条検査における不適正要因として、外観検査では「浄化槽上部の状況」と「設置に係わるその他の状況」のチェック項目が多く見られています。このうち「浄化槽上部の状況」は異常な嵩上げが多く見られ、「設置に係わるその他の状況」については流入配管の問題が多く見られています。

一方書類検査のなかの「記録の有無」は不適正要因の中で最も多く見られています。この項目は保守点検の記録の有無についてチェックを行っており、保守点検を行っていないと思われる施設が不適正要因の大部分を占めています。

検査項目	主な要因	計
外観検査	浄化槽上部の状況	10
	雨水、土砂等の槽内への流入状況	3
	設置に係わるその他の状況	8
	管渠、升及び各单位装置管の水位の状況	1
	漏水の状況	2
	槽の水平、浮上、破損または変形等の状況	1
	内部の固定状況	2
	ポンプ、送風機及び駆動装置の稼動状況	1
書類検査	記録の有無	227
	未登録業者による保守点検	2
その他	仕様書、設置届け書と異なる人槽の設置	3
	建築用途に適さない人槽の設置	3
計		263



③ 11条検査の実施状況

毎年1回定期的に行うことが義務づけられている11条検査は、保守点検や清掃が適正に実施されることによって浄化槽の機能が十分発揮され、法律で規定する処理水質が確保されているかどうかを確認するために行われています。(栃木方式11条検査は平成16年度より実施されています。)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
実施基数	54012	62214	65684	70692	77375
適正	27687 (51.3%)	33254 (54.3%)	35258 (53.7%)	37749 (56.6%)	73983 (95.6%)
おおむね 適正	21777 (40.3%)	23049 (37.0%)	24636 (37.5%)	32943 (49%)	1870 (2.4%)
不適正	4548 (8.4%)	5413 (8.7%)	5790 (8.8%)	4302 (6.1%)	1522 (2.0%)

④ 11条検査結果

検査結果の判定は「浄化槽法定検査検査結果ガイドライン」(環境省浄化槽推進室)によって行い、「適正」、「おおむね適正」及び「不適正」に区分されます。

浄化槽 の種別	平成18年度 末時点での 総設置基数 (基)	検査 実施数 (基)	実施率 (%)	検査結果					
				適正		概ね適正		不適正	
				件数	%	件数	%	件数	%
単独	65,215	39,255	60.2%	38,237	97.4%	541	1.4%	477	1.2%
合併	72,187	38,120	52.8%	35,746	93.8%	1,329	3.5%	1,045	2.7%
計	137,402	77,375	56.3%	73,983	95.6%	1,870	2.4%	1,522	2.0%

⑤ 不適正の判定理由内訳(件数は延数)

今年度より判定の見直しを行い、塩化物イオン濃度を判定項目から除いたことから、単独浄化槽の不適正判定及び、2年連続不適正判定が大幅に減少した。(重複して集計するケースがあるため④の不適正数より合計数が増加する。)

	BOD		残留塩素		合計
	件数	%	件数	%	
単独	443	92.3%	37	7.7%	480
合併	1021	96.2%	40	3.8%	1061
合計	1464	95.0%	77	5.0%	1541

⑥ 2年連続不適正浄化槽内訳

不適正浄化槽のうちBODについて2回連続で不適正であった施設はみなし浄化槽(単独浄化槽)55基、浄化槽158基の合計193基であった。2回連続でBODが不適正であった施設については再検査を行っている。

	2年連続 BOD	%	2年連続 BOD以外	%	合計
	単独	55	70.5%	23	
合併	138	97.2%	4	2.8%	142
合計	193	87.7%	27	12.3%	220